

# - 1 . 伝統的工芸品産業調査

## Survey on the Traditional Craft Industry

 <b>キーワード</b>	伝統的工芸品 地場産業 原材料 生産用具 需給バランス
<b>Key Word</b>	Traditional Craft、Regional Industry、Material、Tool

### 1 . 調査の目的

伝統的工芸品産業は、旧来からの原材料や生産用具へのこだわり、手作りによる伝統的な技術・技法により生産され、地域の生活や風土に根付いた産業として発展し、我が国のものづくりの原点として継承されながら現代ものづくり産業、歴史・文化形成に大きな影響を与えてきた。しかし、社会経済環境の変化や海外製品輸入の急増等に伴い需要は減少の一途をたどり、伝統的工芸品産業・産地は大幅に縮小している。特に、この縮小は原材料・用具供給事業者の大幅な減少に拍車をかけ、調達コストの増加や天然資源の枯渇等と相俟って伝統的工芸品の要となる原材料や生産用具の生産・供給に支障をきたしている。一方、伝統性の持つこだわり・風合いや地域性は付加価値性を有し、地域ブランド化とあわせて反転攻勢にでる産地もでてきている。伝統的工芸品の質的競争力強化や高付加価値産業育成の観点からその源泉となる原材料や生産用具の安定的確保が急務な課題となっている。

本調査では、伝統的工芸品産業の生産基盤整備を推進し、原材料や用具の安定的確保、伝統的工芸品産業の振興に資することを目的に、伝統的工芸品産地における生産基盤の実態と課題及び原材料・用具供給側の供給実態と課題を検討し、この需給ギャップ解消による連携強化の観点から先進的取り組み事例とあわせて生産基盤整備への取り組み課題と方向性を明らかにする。

### 2 . 調査研究の概要

#### (1) 調査の構成

本調査研究は大きく3つの調査とそれらをまとめた課題分析・提言の4項目からなる。始めに、伝統的工芸品産地における生産基盤の問題と対応状況を調査し、生産基盤の問題実態や取り組み状況・課題、取り組み意向等を把握することにより問題内容と対策のパターン分析を行った。次に、問題を抱える生産基盤の供給側の現状を調査し、原材料や生産用具の生産・流通の実態と課題を把握することにより供給側の問題と産地との取引・連携意向とのパターン分析を行った。さらに、生産基盤の取り組み事例を調査し、問題内容や対応策の状況、成果等を明らかにして今後の対応課題を分析した。これらの調査結果をもとに生産基盤整備に向けた今後の対応課題を提案した。

#### (2) 調査の内容

伝統的工芸品産地における生産基盤の問題と対応状況

全国の指定伝統的工芸品産地における産地組合を対象に「生産基盤に関するアンケート調査」を実施し、生産基盤整備に関する現状と抱える問題、対応状況を明らかにし、取り組み意向を把握した。

< 調査対象 >

全国 210 の指定伝統的工芸品の 211 産地組合

< 調査方法 >

アンケート調査票の郵送配布、郵送回収 回収数：173 産地組合 (回収率：82.0%)

< 調査項目 >

- ・産地振興上の問題と今後の振興方向
  - ・原材料確保上の問題(有無、品目、所在等)
  - ・生産用具確保上の問題(有無、品目、所在等)
  - ・問題への対応状況(対策の有無、問題点等)
  - ・調達先と調達方法、問題点、調達先への要望、調達先との連携意向と取り組み内容・課題等
- 問題を抱える生産基盤における供給側の現状と課題

原材料や生産用具を供給する事業者に対して「伝統的工艺品に使用される原材料、生産用具の生産基盤アンケート調査」を行い、材料や用具の生産・流通構造、問題点、取り組み意向等を把握した。

< 調査対象 >

問題となっている陶土、天然木・竹、麻糸（苧麻）、漆、和紙原料の5原料及び生産用具の織機、竹おさ、刷毛、筆、簀の5品目を産地に供給する279事業者

< 調査方法 >

郵送配布、郵送回収 回収数：99事業者（回収率：35.5%）

主要な供給事業者へのインタビュー調査

< 調査項目 >

- ・事業概要（取り扱い品目、生産・販売額、従業員数、業務形態、産地との取引状況等）
- ・調達先と販売・供給状況（地域、業種、伝産産地の割合、生産・販売上の問題、供給見通し等）
- ・産地との連携意向（意向の有無、産地への連携・協力要望等）

事例にみる対応策の取り組み実態と課題

上記の10品目を扱い、様々な取り組みを展開する産地の取り組み事例調査を行った。

< 調査対象 > . . . . . 問題となる10品目を扱う下記の伝統的工艺品産地

宮古上布、加賀友禅、大館曲げわっぱ、高山茶筌、越後与板打刃物、土佐和紙、西陣織、博多織、京友禅、金沢箔の10産地

< 調査方法 > . . . . . 産地組合及び関係事業者、関係機関等へのインタビュー調査

< 調査項目 > . . . . . 問題内容と取り組み内容 対策の検討、実施内容  
実施状況と成果 成功ポイント 今後の課題 等

生産基盤整備に向けた今後の対応課題

以上の調査結果をもとに原材料や生産用具の需給ギャップの解消、産地間及び需給の連携・協力の観点から、生産基盤整備に向けた今後の取り組み課題を検討した。

(3) 主な調査結果

伝統的工艺品産地では生産基盤に対する危機感が強まる

原材料では5割以上、生産用具では3割以上の産地が問題を抱え、対応を検討・実施中

原材料では天然資源の枯渇、採取・育成人材不足、調達コスト増、品質低下等が問題

用具ではメーカー・道具屋・卸販売の減少、用具製造人材不足・高齢化、コスト増等が問題

産地では様々な対応を試みるが、取り組み課題も多い

調達先への相談・意見交換、関係機関との連携、代替開発、人材育成等への対応

一産地の限界や資金・人材難、スピードの遅さ、情報不足など課題が山積

供給側は産地の予想以上に厳しい環境が続き、産地との連携意向が高まる

4割以上の供給先で今後の見通しが立たない。品目によっては供給人材が数名と限定

需要・販売先の減少、材料等のコスト高、人材不足・高齢化、材料の品質低下などが問題

安定的な需要確保や人材育成、代替開発、情報交流など産地との連携・協力意向が強い

生産基盤整備に向けた取り組みの基本的方向

全国の伝統的工艺品産地間及び供給先との広域的な連携・協力関係の構築

原材料や生産用具の安定的需要・ロットの創出及び供給人材・後継者の育成

具体的な取り組みに向けた対応課題

産地全体での取り組みの推進

・ . . . 全国的な情報交流の場づくりと相談窓口・コーディネート機能の充実・強化

取り組み意欲の強い産地の個別的取り組みの推進

・ . . . 業種連携や供給情報共有化、共同調達、供給人材育成等モデル事業への取り組み